



【教育目標】 小樽の未来をつくる北陵生の育成
【重点】 「15の春をみんなで考えよう」 ～小中一貫教育の継承と進化～

1. 第1回学校運営協議会の開催について

4月20日(月)に北陵中学校図書室で第1回学校運営協議会が行われました。今年度から北陵中学校PTA副会長の高橋梨絵さんが加わり、委員10名でスタートすることになりました。この会議の中では学校より令和8年度の学校経営方針や令和7年度の学校評価、小中一貫教育や働き方改革などの取組について説明がありました。委員の皆様からのご質問やご意見は以下に紹介させていただきます。

2. 委員の皆様からのご質問について

①キャリア教育はとても大切な取組であると思うが、北陵中ではどのような取組をしているのか？

⇒今年度より新たに2年生で職場体験学習を取り入れる。本校では今年度「時間を守る」ことを意識させているが、就職してからも「時間を守る」ことは最も基本的なことであり、日常の生活と結びつけて指導をしていきたいと考えている。また、1・3年生では、旅行的行事で職業に携わる方々の「職業講話」等を実施し、自分たちの住む街の魅力や課題を再発見し、地域の関心や愛着を深めていきたいと考えている。

②不登校生徒の現状とどのように対応しているか教えてほしい。

⇒4月に入ってから昨年度より不登校生徒の減少が続いている。その要因の一つとして生徒が楽しみにしている旅行的行事が5月に予定されていることもあげられる。ただ、各学年数人は長期に欠席している。今後も保護者と連絡を取り合い、昨年度に引き続きサポートルームの設置や関係機関（登校支援室）と連携し、個別の学習支援に取り組んでいく。今後もこのような取組を通して生徒・保護者の不安の解消に努めていく。

3. 委員の皆様からの意見について

・キャリア教育はとても大切で、中学生のうちから職業についてイメージを持たせることや働く経験をさせていくことがとても重要であると考えている。そのことが職業人の基礎となっていく。また、社会の役に立ちたい、小樽の役に立ちたいなど郷土愛を育てる意味も出てくるので、ぜひ力を入れて取り組んでほしいなど、キャリア教育の重要性に対する意見が多数ありました。

